

# Mitsui Fudosan 三井不動産 Story

真珠の海で、  
夫婦って、  
不思議なものだなと思った。

鳥羽の湾が眼下に広がる。  
朝の光が海に反射している。  
まるで真珠のようだと思った。  
ここが真珠養殖発祥の土地のせいだろうか。  
背中に妻の寝息が聞こえる。  
こんな風に彼女を見るのはひさしぶりだ。  
そっと手にふれる。こんなに小さかったかな。  
寝顔はやっぱり娘とそっくりだ。

「結婚30周年って、真珠婚らしいよ」  
朝のワイドショーが、鳥羽市が取り組む  
このロマンチックなイベントを教えてくれた。  
いつか伊勢神宮に行きたいねといつも言っていたから、  
僕は鳥羽を巡る小さな旅をすることにした。  
その真珠婚式とやらをやることにして。  
照れくさいと笑う妻をやや強引に説得した。  
実際に来てみると照れるのは僕のほうで  
彼女のほうはかなりうれしそうだった。

6年ほど前にリニューアルした  
鳥羽国際ホテルの清潔な匂いと  
スタッフまで参加してくれた温かいその式に  
彼女の顔がほころんだ。  
そして「ありがとね」と言って腕をくんできた。  
僕も彼女に「ありがとね」と言った。  
そう口にして、  
彼女のありがとね、には  
これからもよろしくねという意味があったのだと  
気がついた。

いい街には、物語がある。

